

平成28年産「郷の有機」特別栽培米・環境保全米「Cタイプ」栽培基準

1. 土づくり

「郷の有機」特別栽培米	環境保全米「Cタイプ」(いずれか選択)	
「郷の有機」を施用500kg/10a	完熟堆肥1トン以上施用	稲わら(豆殻)全量すき込み
	とれ太郎 40~80kg/10a	混合りん肥 120~160kg/10a

※「郷の有機」特別栽培米は必要に応じてとれ太郎・混合りん肥を散布する。

※稲わらの腐熟促進にはワラ分解キングを使用する(10kg/10a)

2. 種籾の準備 全て購入種子とする。

郷の有機	ひとめぼれ・ササニシキ・コシヒカリ・つや姫
Cタイプ	ひとめぼれ・ササニシキ・コシヒカリ・まなむすめ

3. 種子消毒 温湯消毒又はタフブロック(ばか苗対策として両方を実施することも可)

4. 育苗

- 育苗土 ……培土又は山土
- 育苗様式 ……プール育苗推奨(カビ予防対策)
- 病害防除 ……アグリボEX(発根促進・病害抵抗性強化)
- ……過磷酸石灰(粉)(PH調整・稲体強化)※山土の場合4~8g混和

※タチガレン剤は使用できませんのでご注意願います!

5. 施肥(現物施用量) ※以下を上限に実施する。

区 分		ひとめぼれ	ササニシキ	コシヒカリ	つや姫	まなむすめ
基肥	あさひな特別栽培専用肥料	40kg	40kg	40kg	40kg	40kg
	あさひな特別栽培専用ペースト043					
	フレーバーペースト846	50kg	50kg	50kg	50kg	50kg
	エコペースト854					
追肥	あさひな特別栽培専用肥料	20kg	10kg	10kg	20kg	20kg
一発	有機一発088	60kg				
基肥	らくだ君有機一発200	50kg				

※有機アグレットは補い用として基肥・追肥に使用できます。(有機態100%のため上限なし)

※「郷の有機」特別栽培米でも一発型肥料が使えるようになりました。

6. 葉いもち・初期害虫防除

薬剤名	使用量	使用時期・方法	成分数
Dr.オリゼフェルテラ粒剤(箱処理剤)	1箱当り50g	緑化期~移植当日、均一に散布	2成分
側条オリゼメートフェルテラ顆粒水和剤	500g/10a	移植時、ペースト肥料に混合し使用	

7. 除草剤散布

一発剤	剤型	使用量(10a)	散布適期	使用時期	成分数
ウイナー	1キロ粒剤75	1kg	代播後 10日以内	移植直後~ノビエ2.5葉期 1キロ粒剤75・フロアブルは 移植同時処理可	3成分
	フロアブル	500ml			
	ジャンボ	小包装(パック) 10個(500g)			

中後期剤	剤型	使用量(10a)	使用時期	成分数
バサグラン (必要あれば)	粒剤	3kg	移植後15~55日(但し、収穫60日前まで)	1成分
	液剤	500~700ml	移植後15~55日(但し、収穫50日前まで)	

8. 病虫害防除(多発が予想される場合は、別途協議する)

○穂いもち ……畑のカルシウムやとれ太郎を施用し稲体強化に努める。

○稲こうじ病 ……撒粉ボルドー粉剤DL(成分カウントなし)を出穂20日~10日前に撒布する。

○カメムシ類 ……出穂10日前までに圃場周辺の草刈を終了する。

薬剤名	剤型	使用量(10a)	使用時期	成分数
スタークル	粉剤DL	3kg	穂揃期	1成分
	1キロH粒剤	1kg		
	液剤10	1000倍 60~150L		

+

もう1剤は	成分数
当年の7月 にお知らせ します。	1成分